



「きっくん」
(本校キャラクター)

令和7年度 茨城県立北茨城特別支援学校グランドデザイン

校訓
元気に
仲よく
たくましく

ひろげよう 学びの場 とどけよう 笑顔とあいさつ

教育目標

安心安全で笑顔あふれる教育環境の中で、自己存在感を実感し、自分らしく力を発揮しながら自立と社会参加を目指す。

<目指す学校像>

- 児童生徒・教職員が笑顔あふれ、安心安全に学べる学校
- 児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、楽しく学び合える学校
- 保護者・地域から信頼され、地域の特別支援教育の発展に貢献できる学校

<目指す児童生徒像>

- 自分の良さに気付き、好きなことがたくさん見つけれられる子
- 笑顔であいさつができ、仲良く助け合える子
- 自分で考えて、たくましくチャレンジできる子



<目指す教師像>

- ①教育公務員としての誇りと高い倫理観をもつ教師
- ②笑顔と挨拶を大切にする教師
- ③チャレンジ精神にあふれ、支え合い学び合いができる教師

MISSION 社会の中で果たす役割

心豊かな学び

VISION 実現したい姿

深い学びの視点を踏まえた授業づくり

今年度の重点事項

【授業】

目標達成するための学習活動の充実
年間指導計画の改善

【ICT活用】

学びの成果の発信やアウトプット、振り返りのツールとしての活用

【キャリア教育】

「あいさつ」「清掃」「接遇」及び 小学部からの職場体験を軸とした系統的取組つながらるマルシェ@きたとくによる相互理解

安心・安全

安心・安全な教育環境づくり

【安心から学びへ】

自己存在感を実感できる活躍の場の設定
(リスペクト賞、チャレンジタイム)

家庭支援の推進

【医療的ケア】

医療との連携と情報共有
災害時の医療的ケア

【防災・防犯体制】

地震・津波を想定した地域住民との避難訓練
防災、防犯、健康、消費者教育の充実

地域と共にある学校

多様性を認め合える共生社会の実現

【コミュニティ・スクール】

協地域資源を活用した協働的な学びの実現
～芸術をとおして～

【交流及び共同学習】

「合理的配慮個人支援シート」を活用した相互理解

【校内ギャラリー】

作品による間接交流

【きたとく祭(文化祭)】

各部門・地域との交流

【地域ギャラリー】

地域の施設等の活用

地域に沿った特別支援教育の推進

多様なニーズに対応できるセンター的機能の強化

【地域への支援体制】

「みんなで地域支援」をコンセプトにした学校全体による支援体制

【校内支援】

専門家を交えた支援方法の検討
迅速な校内支援会議

【学び合い】

地域と共に学び合いスキルアップする機会
・推進体制充実事業
・地域連携体制構築事業

専門性向上と働きやすさ

教職員の専門性向上と働きやすさ

【学び続ける教師】

外部講師による研修会(自閉症の理解、マルチリトメント、自立活動研修等)

【ボトムアップ研修】

教職員の相互研修(強みを生かした研修)

【働きやすさ】

業務改善会議(年2回)実施
校長による教職員のそれぞれの強み発信